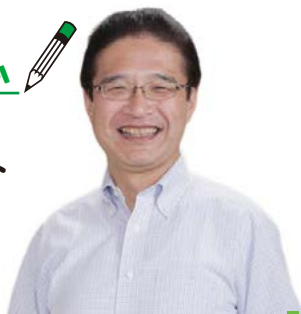


# 市長コラム



## 4大プロジェクト 進行中

津市長 前葉泰幸

平成の大合併により10の市町村が新「津市」としてスタートして7年半が経過しました。合併10年後までの完成を目指す4つの大きな事業は地元の皆様のご協力により着実に進行し、いよいよこの夏から槌音が響き始めます。

津インター近くに建設する(仮称)津市産業・スポーツセンターは、南側に拡張する駐車場の整備と、北側からの進入道路の4車線化に着手します。来年には本体工事に入り、平成28年4月の供用開始を目指します。

新しい最終処分場は、美杉町下之川で建設工事が始まります。第1期分は平成27年度中に完成し、9万㎡

の不燃物の埋め立てが可能となります。埋め立て前の中間処理を行うリサイクルセンターも片田田中町に建設し、ゴミを資源化します。破碎、選別、圧縮梱包の行程を経て、資源化できないもの(破碎後の陶磁器、ガラス・鏡、化粧品や消毒用の瓶など)だけが最終処分場に運搬されることとなります。

新斎場の工事も急ピッチで進みます。現斎場に隣接する半田の地に緑に囲まれた火葬・待合棟と葬儀棟を建設し、平成27年1月から使えるようにします。

JR名松線家城・伊勢奥津間の復旧工事については、治山事業を担当する三重県とともに、津市は水路整備による治水対策を進めています。平成28年春の再開通を目指し、JR東海に軌道施設の復旧工事の進捗を図っていただきます。

これら4つのプロジェクトの事業費の合計は300億円を超えますが、合併特例債の活用により健全な財政を維持しつつ資金を確保することができます。老朽化した津市体育館、津市民プール、三重武道館や津・久居・香良洲の斎場、また、3年後には閉鎖となる白銀埋立処分場に代わる施設を作ることは、未来への責任です。しっかりと進めてまいります。

「TV版市長コラム」では、前葉市長がこのテーマを語ります

HP 津市長コラム |

# 市長活動日記から

## ■甲良町「在士藤まつり2013」(滋賀県甲良町)…5月5日



滋賀県甲良町は、津藩主である藤堂高虎公の出生地というご縁から、津まつりや高虎サミットなどで津市との交流を深めています。この日は、高虎公が生まれた甲良町在士地区で開催された、高虎公ゆかりの「在士藤まつり」に参加しました。藤棚に咲き香る紫藤は、樹齢400年以上といわれ、地元の皆さんの手入れが行き届きとても見事でした。また、北川豊昭甲良町長のご案内で視察した在士高虎公園には、お城公園と全く同じ高虎公騎馬像があり、両市町の交流の歴史を感じました。

## ■ファタフェスティバルvol. 3 (マリーナ河芸)…5月12日

爽やかな青空の下、第3回の「ファタフェスティバル(Fata festival)」が、マリーナ河芸で開催されました。主催されたNPO法人CORORO(永島いづみ理事長)の提案する「障がいの有無や世代、国籍などの壁のない、だれもが交流して楽しめる場づくり」に賛同された市内外の法人・団体が運営に加わり、食に音楽、海との触れ合いなど盛りだくさんの内容となりました。会場は和やかな雰囲気にもまれ、集まった皆さんが自由に楽しみながら自然体で交流し、多くの笑顔であふれていました。



## ■「日台観光サミットin三重」台湾政府歓迎セレモニー(津なぎさまち)…5月30日



「日台観光サミットin三重」参加のため、津なぎさまちの高速船旅客ターミナルに到着された謝謂君台湾観光局長をはじめとする台湾政府・観光団体のご一行をお出迎えしました。

津市と台湾は、安濃津よさこいが架け橋となり、津まつりと台湾ランタンフェスティバルへの相互参加を通じた10年以上の文化交流があります。ターミナルでは関係者との再会を喜びあう姿が見られ、津市がこの場所から世界につながっていると印象付けるシーンでした。この後、志摩市で開催された歓迎会にも参加し、さらに交流を深めました。

●市財政収入の一部に寄与することを目的とし、表紙に広告を掲載しています。掲載している広告内容については、津市が保証しているものではありません。

「市長活動日記」は津市ホームページでご覧になれます

HP 津市長活動日記 |